

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	歴史文化の活用と伝統文化の継承	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		02-03-10		氏名	高橋清隆
			電話	64-1841	
			このシート作成に要した時間	2.0	時間

この施策の アピール ポイント	本市には、日本を代表する焼物「備前焼」や近世の教育資産「閑谷学校」、また多くの文化財があり、後世に引き継ぐとともに広く活用していきます。
-----------------------	--

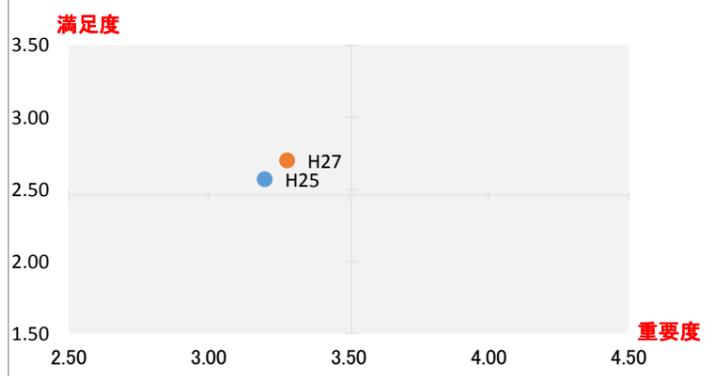
この施策の 平成27年度の 施政方針	「備前市歴史文化基本構想」に基づき、地域の資産を活かし、理解し、後世に伝えていくために備前市らしいまちづくりの準備を進めます。地域を代表する資源である備前焼については、一層の振興を図り、窯業地備前としての情報発信を行います。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	自己実現施策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画 (中項目)	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	旧閑谷学校や備前焼をはじめとするびぜんの歴史や文化財に関心のある人に対し、積極的に公開活用し、地域の人の手で保存継承します。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	備前市内には、旧閑谷学校、備前焼、瀬戸内海からの海産物、山々の自然環境など、豊かな歴史、文化、自然があり、それらは備前焼などの窯業をはじめ、現代の生活の中で脈々と息づいています。これらの地域文化資源は、まちを構成する重要な要素となっていることから、大切に守りながら後世の人につないでいくとともに、それらの価値を十分に理解し、まちづくりに生かしていく取り組みが必要です。また、市内各地域には古くから伝わる祭りや芸能が数多く残っており、地域の人々の手で保存・継承していくことが望まれています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化資源を適切に保存し後世に伝えます。 地域文化資源をまちづくりに活用します。 地域文化資源をニーズに合った方法で情報発信します。 わかりやすいガイダンス施設を拡充していきます。 伝統文化を適切に保存します。 旧閑谷学校の世界遺産登録を推進します。 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.20	3.28
満足度 (%)		2.57	2.70



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	備前焼、閑谷学校をはじめ多くの歴史的な資産があるのに、情報発信の方法など生かしきれていないのではないかと。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H25	H26	H27				
成果指標 文化施設の年間入館者数	目標	人	8,000	8,000	8,000	市で管理運営する歴史文化施設(歴史民俗資料館・加子浦歴史文化館・埋蔵文化センター・吉永美術館)への入館者数	H28	10000
	実績	人	5,813	6,215	6,829		H32	10000
	達成率	%	72.7	77.7	85.4		H34	10000
	ベンチマーク						—	—
参考指標 指定文化財等対応件数	目標	件	160	160	160	地域内文化財や文化遺産の調査・管理対応件数	H28	150
	実績	件	165	160	140		H32	160
	達成率	%	103.1	100.0	87.5		H34	160
	ベンチマーク						—	—
参考指標① 閑谷学校のことを来訪者に説明できる市民の割合	目標	%	63.0	63.0	63.0	【市民意識調査】 (H26・28は実施せず)	H28	63
	実績	%		62.7			H32	64
	達成率	%		99.5			H34	65
	ベンチマーク						—	—
参考指標②	目標						H28	
	実績						H32	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						—	—
参考指標③	目標						H28	
	実績						H32	
	達成率	%					H34	
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
文化スポーツ課	文化活動推進事業	所管は違うが、連携で相乗効果が期待できる事業である。
中央公民館	図書館運営事業	各種文献とその地の歴史文化を紐解く上で図書館機能との連携は欠かせないものと認識しています。
学校教育課	小・中学校運営支援事業	学校の授業においても当然学ばれていると思います。学校ごとにその地の歴史に触れる機会があると思います。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	文化施設への入館者が増えることは望ましいことだと感じるが、文化財を後世に引き継ぐ上で、文化財行政の大切さを理解していただける指標の設定が必要だと感じています。例えば、市民意識調査で「芸術文化活動の推進」の指標として掲げている「芸術・文化に接する機会があった市民の割合」という指標の方が望ましいと考えております。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	生涯学習課が所管する施設は、使用しなくなった施設のお下がりが多く、場所もばらばらで公共交通の便が悪く、集客が上がる配置となっておりません。施設の統廃合や集約によって、鑑賞しやすい体制を整える必要性があります。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	入館者数は若干増えているが、目標には到達していません。地元の歴史を伝えていくためには、魅力ある企画展の開催と情報発信方法を変えていく必要があると感じます。また、有料館であるがゆえに敷居が高くなっていることも想定され、対策が必要です。	
進行年度 (H28年度) の取組内容 (課題解決状況)		「加子浦歴史文化館」で、イベントと日を合わせ無料開館日を設け、実験を行っています。たくさんの人に見てもらえる結果が出れば、無料化の検討に入ります。	
翌年度 (H29年度) の取組目標		備前市歴史文化基本構想に基づき地域文化資源を総合的に活用するためのメニューを展開していく。備前焼の歴史については小規模発掘やフォーラム開催により調査研究や情報発信が進んでいる。備前陶器窯跡については、整備委員会の指導を受け、関係機関と協議しながら今後の方針を決定します。	
二次評価者コメント		地元の歴史・文化への市民の造詣は地元愛を生み、教育分野に限らず様々な施策が必要とされる地域力の源になります。中途半端な施設が多いことや今ひとつ有効な情報発信ができていないなど課題がありますが、一つ一つ工夫して課題克服していきましょう。	基本施策への貢献度 4 やや高い

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成27年度	根拠法令・例規等	博物館法 備前市立備前焼ミュージアム設置条例
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 合 先	担当課(室) 市長室秘書広報課
	中項目 基本計画	03	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち		
	小項目 施策	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承		
事務事業名		03	備前焼ミュージアム管理運営事業	職・氏名	主査 山口 久美子
				電話	0869-64-1800
				このシート作成に要した時間 5.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前焼その他芸術文化に興味関心のある市民及び観光客	
目的(何のために)	備前焼その他芸術文化に関する知識及び教養の向上並びに芸術文化の創造及び発信を目的とする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前焼等に関する資料を収集、保管、調査研究及び展示することにより、備前焼に関する情報発信を行う。また、これら資料等を活用し、学習や体験の機会をつくり、備前焼の知識の向上を図る。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前焼ミュージアム管理運営事業	H27.10.1 備前市立備前焼ミュージアムとしてオープン H27.10.1~H28.3.31までの入館者数 4,429人 企画展、テーマ展の開催 ・企画展『守破離—古備前に学ぶ若者たち—』 会期 H27.9.29(火)~11.29(日)、入館者数2,132人 ・企画展『日本六古窯 若手作家の今』 会期 H27.12.8(火)~H28.1.11(月)、入館者数454人 ・企画展『OXFORD ANAGAMA展』 会期 H28.3.10(木)~27(日)、入館者数648人 ・テーマ展『備芸会入賞作品展』 会期 H28.1.5(火)~19(火)、入館者数 341人	◎

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円			12,225
	必要人員	人			0.90
	事業費	千円	0	0	7,316
	国県支出金	千円			19,541
	受益者負担	千円			1,510
	財源	千円			18,031
	一般財源			18,031	
	受益者負担比率	%	-	-	7.7%

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	入館者数	人			4,429
	結果指標量				4,429
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円			17,193,000
単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	3,882	

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)				4,200	10,000
	実績値(B)				4,429	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	105.45%	13,400	
成果指標設定の考え方・式や説明						
ミュージアムの展示をより多くの皆さんに見ていただくことが本来の目的につながるため、成果指標とした。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ<■←「コピー」して「貼り付け」してください>		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

事業の目的、指標、その数値目標に留意しながら

進行年度(H28年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○						
説明	平成27年度は、年度途中で民間から運営移管となったため、企画展等のスムーズな運営ができなかったが、本年度は、企画展等のタイムスケジュールを見直しスムーズな運営をしていきたい。また、観光事業へのPRホームページやフェイスブック等を活用することにより、幅広く情報発信をしていく。							

総合評価		C
備前焼は当市の伝統文化・産業であることから備前焼の魅力を発信することは産業面、観光面でも重要な位置付けしている。コスト面については、老朽化している施設の修繕や企画展等の充実を図る必要があるため、充実させる必要がある。企画展等を充実させ、情報発信を積極的に実施することにより目標値は達成できると考えている。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー

平成29年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○						
取組目標	展示ケース、照明等の展示用設備が老朽化していることや作品の見せ方も設置当時から比べると時代により変わっており、順次展示スペース等の改修を行い、今風の展示を行えるようにしていきたい。また、国道2号が緊急輸送道路に指定されていることから、昭和52年建設の備前焼ミュージアムの建物は耐震診断の実施対象施設であるため、今後は耐震改修の必要性も考えながら、施設整備を行ってきたい。企画展等については、他の芸術分野とのコラボレーションについても取組んでいきたい。							

Action

備前市事務事業評価シート

(平成27年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	平成9年		根拠法令・例規等	加子浦歴史文化館設置条例	
総合計画	大項目	02 自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問合先	担当課(室)	生涯学習課
	中項目	03 豊かな自然、歴史、文化の中で豊かになるまち		職・氏名	文化財係長 大西健夫
	小項目	10 歴史文化の活用と伝統文化の継承		電話	0869-64-1841
事務事業名	05	加子浦歴史文化館管理運営事業	このシート作成に要した時間	6.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内外を問わず、小・中・高の学生、大学生、また生涯学習をしようとする人。歴史研究者・郷土史研究者(愛好家)・文学研究者・観光客・資料寄託者・資料寄贈者。	
目的(何のために)	①郷土に関する歴史・民俗・文学資料の収集と保存に努め、それらを後世に伝え、遺す。 ②①で収集した資料をもとに常設・企画展を行い、当館利用者の文化的向上と調査研究の一助となることを目的とする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	当館の入館者のうち、市内の入館者は少なくほとんどが観光客である。観光客数は景気により左右されるので、当館が発足した際の「温故知新」をテーマに、日本文化を発信するスポットとしての役割を果たしたい。	

事業の実績		Do		
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	加子浦歴史文化館管理運営事業	① 資料の保管・管理		
		② 資料の収集・展示		
		③ 企画展等の開催		

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	5,740	5,433	4,685
	必要人員	人	1.01人	0.84人	0.84人
	事業費	千円	13,783	13,574	11,252
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	348	448	384
繰入金	千円				
市債	千円				
その他(書籍・冊子販売収入)	千円	30	19	27	
一般財源	千円	13,405	13,107	10,841	
受益者負担比率	%	2.5%	3.3%	3.4%	
結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	一年間の入館者数	説明	入館者数に文化講座参加者数を加えたもの		
	結果指標量		2,320	2,584	2,338
	対前年量	%		111.4%	90.5%
	活動コスト	円	13,783,000	13,574,000	11,252,000
単位当たりコスト			5,941	5,253	4,813

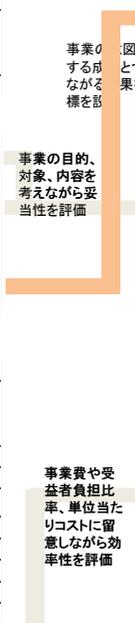
事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	加子浦歴史文化館利用者数	目標値(A)	2,900	2,600	2,600	2,400
		実績値(B)	2,320	2,584	2,338	到達目標値
		達成率(B/A)	80.00%	99.38%	89.92%	2,400
成果指標設定の考え方・式や説明						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H28年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	施設設備の修繕を実施するとともに、次年度以降に向けた施設の在り方を検討する						

総合評価		Action
備前焼ブランド「壺と播鉢の魅力と歴史」、「閑谷を愛した人々」、「日生を撮る皿」などの企画展や、茶会と数寄者シリーズで構成した市民文化講座を開催したが、全体の入館者数は昨年度より減となっている。管理運営のコスト削減は限界である。	総合評価	ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	当事業はこれ以上縮小できないところまで縮小している。施設全体の現状見直しを図るべき時期である。						



事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

備前市事務事業評価シート

(平成27年度事業)

事業の概要			根拠法令・例規等	備前市埋蔵文化財管理センター設置 条例
事業開始年度	平成25年			
総合計画	大項目 基本目標	03 地域と文化と人が輝くまちづくり		
	中項目 基本施策	03 地域と文化の輝くまちづくり		
小項目 施策	10 歴史文化の活用と伝統文化の継承			
事務事業名	06 埋蔵文化財センター管理運営事業		問 担当課(室)	生涯学習課
			合 職・氏名	文化財係長 大西健夫
			先 電話	0869-64-1841
			このシート作成に要した時間 2.5 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市の歴史・文化などに興味のある人すべて。
目的(何のために)	発掘調査等により出土した文化財の整理・保管を行う。合わせて調査研究も行き、その成果の活用をはかる。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域遺跡に根差した企画展、ワークショップを展開し、地域の子供たちが気軽に来館できる資料館にしたい。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するための実施した事業	<p>特集展「不老山東口窯跡出土資料ピックアップ展示part1」、企画展「備前の中世城館」、特集展「不老山東口窯跡出土資料ピックアップ展示part2」、平成27年度定住自立圏埋蔵文化財巡回展「We Love 古墳展～あっちにもこっちにも文化財～」、フォーラム関連企画展「備前焼 焼色の美」などの企画展、「企画展『備前の中世城館』関連講座①②③※地域の特性を活かした史跡総合活用支援推進事業」、リゾナリキヤクサー「〇かわらん」を備前焼で作ろう※地域の特性を活かした史跡総合活用支援推進事業、発掘体験「『ここ掘れ碗々』～埋まったお宝さがしたら?」、「クレイアニメーション in Bizen」岡山県子ども備前焼作品展製作ワークショップ、などの子ども向けワークショップなどを開催し、備前市の歴史・文化を広く紹介した。</p>	◎

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業直接事業費	千円	6,747	9,041	10,857
	必要人員(人件費)		0.25人	1.338	0.11人
	事業費計		9,127	10,379	11,870
	国県支出金		325	3,029	3,337
	受益者負担金				
財源	繰入金	千円			
	市債				
	その他(書籍・冊子売込収入、土地使用料)		62	128	136
一般財源		8,740	7,222	8,397	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	
年間入館者数	説明	年間入館者数			
結果指標	結果指標量	1,312	1,204	1,143	
	対前年比%	91.8%	94.9%		
	活動コスト	9,127,000	10,370,000	10,857,000	
	単位当たりコスト	6,957	8,613	9,499	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
年間入館者数	目標値(A)	1,000	1,400	1,300	1,200
	実績値(B)	1,312	1,204	1,143	到達目標値
	達成率(B/A)	131.20%	86.00%	87.92%	1,200
成果指標設定の考え方・式や説明					
地域の方が気楽に来館し、郷土の歴史や遺跡などの文化にふれ、地域の魅力を再確認するため年間入館者数を設定した。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い 高い 低い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い 高い 低い
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い 高い 低い

進行年度(H28年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	今まで以上に地域の遺跡や埋蔵文化財に根差した企画展、やきものに親しむワークショップを積極的に展開し、地域の子供たちが気軽に来館できるセンターを目指している。						

総合評価	
特集展「不老山東口窯跡出土資料ピックアップ展示part1」、企画展「備前の中世城館」、フォーラム関連企画展「備前焼 焼色の美」などの企画展、リゾナリキヤクサー「〇かわらん」を備前焼で作ろう※地域の特性を活かした史跡総合活用支援推進事業、発掘体験「『ここ掘れ碗々』～埋まったお宝さがしたら?」、など埋蔵文化財ややきものに親しめる企画展を開催、子供向けのワークショップも実施したが、全体の入館者数は減少傾向である。「備前市の歴史」に関して情報発信はできているが、来館者の掘り起しには至っていない状況である。	総合評価 ABCDE 高や普通や低い 高い 低い C

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	市内に複数ある文化施設の役割を明確化する。また、国庫補助事業等も活用し、センターの安定的運営をはかる。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を効果指標に留意し目標

備前市事務事業評価シート

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等		備前市吉永美術館設置条例	
総合計画	大項目	基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」		問	担当課(室)	生涯学習課	
	中項目	基本計画	03	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち			職・氏名	主査・中原静枝	
	小項目	施策	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承			電話	84-3839	
事務事業名		07		吉永美術館管理運営事業		先	このシート作成に要した時間		3.0 時間

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方		
目的(何のために)	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸しギャラリーとしての貸館業務を行う。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	郷土の歴史や文化、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与する。		

事業の実績		Do	
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	吉永美術館管理運営事業	施設の運営・維持管理・貸館業務	○

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	直接事業費	千円	533	566	542
	必要人員	人	0.05人	0.03人	0.01人
	必要人員費	千円	431	228	76
	事業費	千円	964	794	618
財源	国・県支出金	千円			
	受益者負担	千円	14	14	10
	繰入金	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	950	780	608
	受益者負担比率	%	1.5%	1.8%	1.6%
結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	吉永美術館入館者数	人	671	771	717
	対前年比	%	-	114.9%	93.0%
	活動コスト	円	964,000	780,000	618,000
	単位当たりコスト	円	1,437	1,012	862

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
年間入館者数	成果指標名	目標値(A)	800	800	800	800
	実績値(B)	実績値(B)	671	771	717	到達目標値
	達成率(B/A)	達成率(B/A)	83.88%	96.38%	89.63%	800
成果指標設定の考え方・式や説明						
入館者数が増加することにより、郷土の歴史や文化、美術に関する知識及び教養の向上を図っていると考えられる。						

事務事業の評価		Check		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度			
	市民参画度			

事業の目的やその数値目標を留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
		説明	吉永総合支所別棟の取り壊しが行われるにあたり、隣にある美術館自体の今後とも考えながら、市民の方々に幅広く貸しギャラリーとして利用をしていただく方向も考えていく。また、春・夏・秋・冬全4回の所蔵展開催等を行うとともに、入館者数の増加を図っていく。文化財係におられる学芸員さんに協力・指導をお願い出来たらしていきたい。						

総合評価		総合評価	
H26年度と比較すると入館者数が少し減となった。やはり、文化祭やMOA児童作品展で入館者数が稼げるが、全4回の所蔵品展での入館者増は難しい。7つのテーマを順繰りに展示しているため、展示作品がその都度同じようになり、1度見たら再度の来館が見込めないのも原因の1つであると思う。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	D

平成29年度の方向性・取組目標		Action	
方向性		拡充	現状継続
			○
取組目標	春・夏・秋・冬全4回の所蔵展開催等を行うとともに、文化財係におられる学芸員さんに協力・指導をしていただきながら、入館者数の増加を図り、引き続き維持管理を行っていく。また市民の方々に気軽に貸しギャラリーとして利用していただけるよう、PRしていく。		